

4 尾上郷施業指標林

荘川営林署

設定の目的

ブナ地帯の天然更新体系の改善を図るため、モデル施業体系指標林を設け、収穫から更新に至る個別方法の改善を図り、技術体系の検証、普及定着に供する。

場 所 岐阜県大野郡荘川村尾上郷国有林184林班に小班

面 積 6.84ha

施業等の概要

伐採前の林況は、ブナ、その他L、林齢200年、材積 $240\text{m}^3/\text{ha}$ 、本数 $241\text{本}/\text{ha}$
昭和49年11月～昭和50年6月ブナ（径6～104cm）本数 $80\text{本}/\text{ha}$ 、材積 $110\text{m}^3/\text{ha}$ 、その他L（径8～78cm）本数 $51\text{本}/\text{ha}$ 、材積 $18\text{m}^3/\text{ha}$ を保残して伐採
昭和50年10月地拵え（4m刈払い、6m残し、横筋刈払）、平成元年度保残木（母樹）伐採

調査計画等

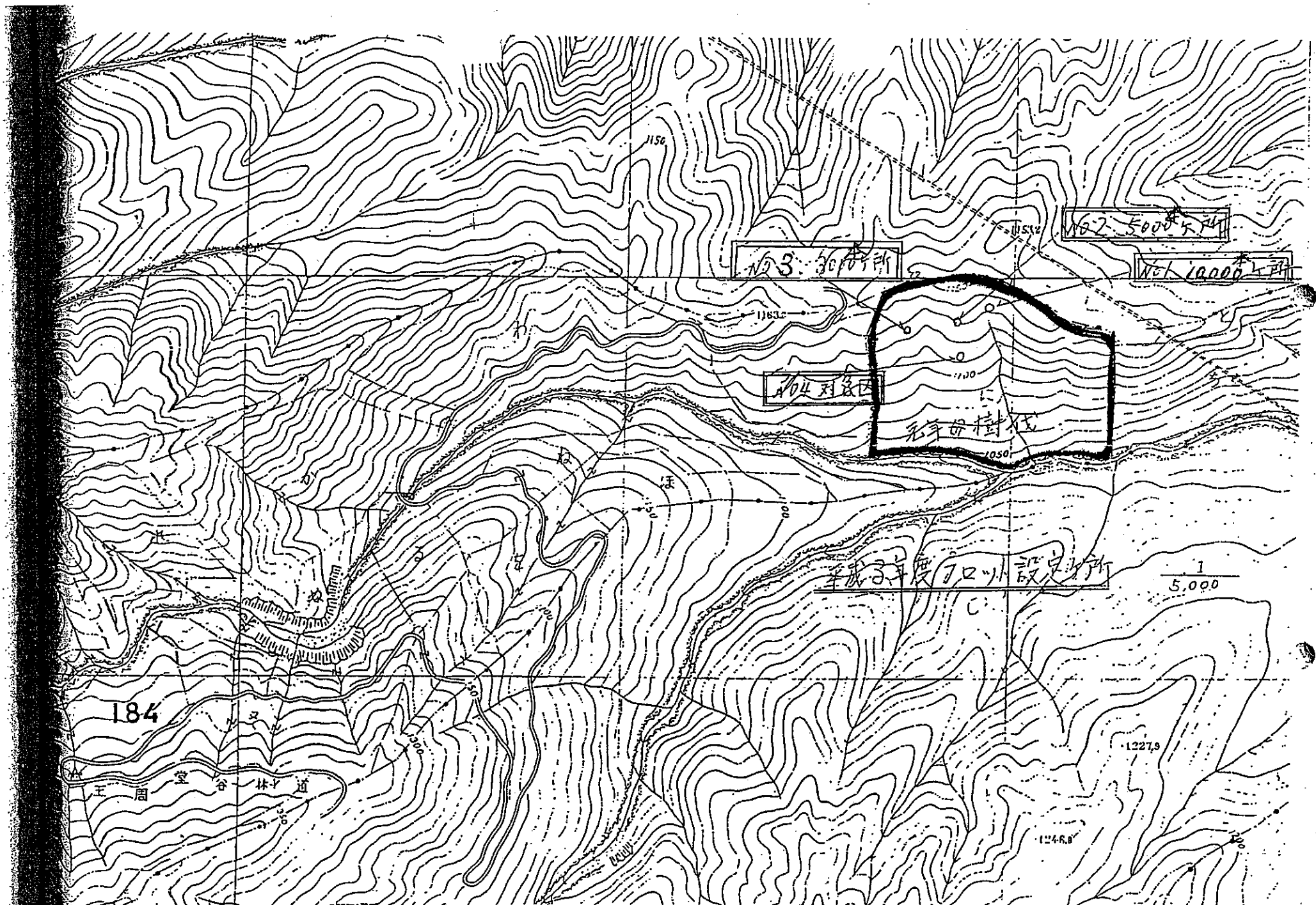
昭和49年7月稚樹調査9プロットを設定し、昭和59年まで毎年調査を行った。
その後は4年目の昭和63年、以降3年目毎にブナ他有用広葉樹の稚樹発生調査を実行、更新の状況を調査している。
昭和57年にはプロット内を刈払い、落下種子量の調査を実施した。

地 況

標 高：1.070～1.120m 林地傾斜： 30°
土壌型：B₀ 方 位：S

林 況

カンバ類を主とする有用広葉樹はササ・カン木等から抜け出ている。
ブナ稚樹には母樹伐採による枝条や下層植生に被圧されているものが見受けられるが、必要に応じササ・カン木の処理を行えば成林が期待できる林分となっている。



184

王園堂谷林道

No. 3: 3000 以下

No. 2: 5000 以下

No. 1: 10000 以下

No. 4 対象区

糸の樹

平成5年度7000 以下

1/5000